



工事タイムス

○東京附近の鐵道省改良工事竣工豫定期　は次の如し

東海道方面

- 一、鶴見操車場完成(四年六月)
- 一、鶴見驛擴張工事(三年六月)
- 一、鶴見操車場、鶴見間線路新設(三年十二月)
- 一、鶴見操車場、品川間線路新設(四年六月)
- 一、横濱驛本屋新設(三年九月)
- 一、程ヶ谷驛擴張工事(三年七月)
- 一、鶴見程ヶ谷複々線工事(四年三月)
- 一、大磯驛擴張工事(四年二月)

中央線方面

- 一、水道橋、牛込、市ヶ谷、四谷各驛擴張工事
(三年十二月)
- 一、飯田町、信濃町間複々線工事(三年十二月)
- 一、中野驛擴張工事(五年三月)
- 一、國分寺、立川間複線工事(四年一月)

東北線方面

- 一、秋葉原驛第二期工事完成(五年三月)
- 一、上野驛本屋及構内擴張工事(七年三月)
- 一、上野、日暮里間線路增設(四年四月)
- 一、田端(貝塚)客車操車場完成(四年三月)
- 一、田端、大宮間複線工事(四年十一月)
- 一、川口町驛擴張工事(四年三月)
- 一、蕨驛擴張工事(四年六月)
- 一、浦和驛擴張工事(四年十一月)

高崎方面

- 一、熊谷、深谷間複線工事(四年三月)
- 一、深谷高崎間複線工事(六年三月)
- 一、高崎驛擴張工事(六年三月)

○自由研究室竣工　東京工業試驗所は市外幡ヶ谷町に鐵筋コンクリート四階建延坪430坪の自由研究所を建設した(五月)、理化學其他の個人研究者の爲めに一ヶ月六十圓位の室代で賃貸するもので、七坪乃

至四坪の室が六十七ある、實驗臺、材料棚、椅子、テーブル、瓦斯、電氣、水道其他の設備完全なものである。

○復興局の工事進捗状況　内務省復興局調査に係る帝都復興状況は本年三月末現在が次の如くである。

▲街路、52線中竣工三線工事中43線未着、手6線歩合は0.48 パーセント。

▲橋梁、112橋中竣工53橋工事中33橋未着手26橋進捗歩合0.88 パーセント。

▲運河、13河川中竣工埋立一、工事中十一未着手1進捗歩合.61 パーセント。

○東京北郊の岩淵町に浮間橋　五月底竣工長さ45間橋は赤羽工兵隊が演習として架設、評判もよいので更に道路や他の土木工事にも實習として出動する諒解が出來た由。

○吾妻橋近く起工　新設計は隅田六大橋に比肩する堂々たるもので、三徑間鐵骨細立となり舊橋梁幅員約五間であつたのを新橋は幅員を八間とし兩側道路の擴張と相俟つて大いに交通の緩和を計ることになつてゐる由。

○九十一時間生埋め助かる　六月二日朝富山縣立山山麓真川の富山縣營水電水路トンネル崩壊し生埋となつた土工八名は六月七日朝二時漸く掘出した九十一時間飲まず食はずであつたが八名とも命があつたとの報。

○交通技師　警視廳が交通事故の対策として今回交通課に交通技師を置く事に決し五月二十五日工學士平山泰治氏を任命した。平山氏は大正十四年東京帝大工學部土木科を優等で卒業した人で、技術上から交通を研究整理するには最も適任とされる。道路の幅員、角度、停留場交叉點の關係、駐車場の位置等を根本的に研究して交通整理の實を擧げ度い由である。

○白山の地圖　内務省白山砂防工事事務所では昨年夏測量掛主任奥原技手が實地調査した結果、砂防工事場から頂上にいたる白山の西面一帯の谷々の狀態が參謀本部の五萬分の一地圖ではあいまいになつてゐるところが多いので、工事施行上の基礎資料とする目的から本年度事業として細密な流域測量を行ふ事となつた、人跡未踏の地でキャンプを拂行しロッククライミングの技術を使用せねば通れぬ懸崖絶壁もあるので、眞に命がけの事業といはれ、助手人夫五名同行の豫定であると。